

大阪市民の働き方と 暮らしの多様性と共生にかんするアンケート

2019 年 1 月

この度、厚生労働省 国立社会保障・人口問題研究所 室長 釜野さおりらの研究チームでは、大阪市の協力を得て、市内にお住まいの皆さまにお願いし、「働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」を行うことといたしました。詳しくは「アンケートについて」、「研究チームからのお願い」、「Q&A」、アンケートご案内用ホームページをご覧ください。

お答えになりにくい質問もあるかと思いますが、純粋に学術的見地からの質問となっております。アンケートへの回答は任意ですが、おひとりおひとりの状況をできるだけ正確に結果に反映するために、ぜひご協力くださいますよう、こころよりお願い申し上げます。

最大設問数 **55 問** **14 ページ** / 所要時間 **15~30 分**

回答期限 2019 年 1 月 28 日 まで

アンケートにかんするお問い合わせ先

☎ **0800-800-2286** [無料]
月～金 9:00-12:00/13:00-17:00

✉ **osaka-chosa@sjc.or.jp**

[業務委託先] 一般社団法人 新情報センター
「働き方と暮らしの多様性と共生アンケート」事務局（担当：安藤・日高）



アンケートにかんするご案内のホームページはこちら
<https://osaka-chosa.jp>

このアンケートを返信用封筒に入れ、投函することで、
本アンケートへの協力に同意いただいたものとさせていただきます。

- 調査主体 厚生労働省 国立社会保障・人口問題研究所 人口動向研究部 第2 室長 釜野さおり 代表
「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム（日本学術振興会 科学研究費助成事業）
☎ 03-3595-2984 ✉ osaka-chosa@ipss.go.jp
- 調査協力 大阪市（担当：大阪市民政局ダイバーシティ推進室人権企画課）



※本アンケートは日本学術振興会 科学研究費補助金 JP16H03709（「性的指向と性自認の人口学—日本における研究基盤の構築」）の助成を受けて実施しています。
アンケート実施にあたっては、国立社会保障・人口問題研究所の倫理審査委員会に審査申請を行い、研究倫理上、問題がないことの承認を受けています。（承認番号 IPSS-IBRA #18003）

アンケート回答に際してのお願い

1. このアンケートは、封筒の宛名のご本人様に回答をお願いいたします。
2. ご回答は無記名でお願いいたします。
3. ご記入には同封のボールペンをお使いください。インターネットでご回答いただくこともできます。
(「インターネット回答のご案内」に詳しい説明がございます。)
4. お答えは、あてはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入ください。
5. 正確にあてはまる選択肢がない場合でも、もっとも近いと思うものをお選びください。
6. 「その他」にあてはまる場合は、[] に具体的にご記入ください。
7. ご記入は、問の番号や矢印(---▶)の指示にそってお願いします。
8. どうしても答えたくない／答えられない質問がある場合は、そのまま次の質問にお進みください。
9. 記入が終わりましたら、返信用封筒に封入し、1月28日(月)までに郵便ポストにご投函ください。
特に理由がない限り、記入漏(も)れのないようにご協力ください。

ご協力お願いします



はじめに、あなたの今のお仕事や、お仕事の経験について、うかがいます。

問 1 あなたは現在、収入をとまなう仕事をしていますか。パート・アルバイト、
自営業の手伝いや内職も含みます。 (○は1つ)

- 1 仕事を持ち、働いている
 - 2 在職しているが、病気・育児などで休職中
 - 3 仕事をしていない
- 問 2 へ

問 1-1 あなたはこの中のどれにあたりますか。

- 1 学生
 - 2 主に家事育児などをしている
 - 3 失業中
 - 4 定年退職・高齢のため無職
 - 5 心身上の事情で働けない
 - 6 その他 [具体的に：]
- 問 9 へ

p.2の
一番下

※ 問2～問8の質問では、2つ以上仕事をお持ちの場合、主な仕事についてお答えください。

問 2 あなたのお仕事は大きく分けて、この中のどれにあたりますか。 (○は1つ)

- 1 正社員
- 2 パート・アルバイト・臨時雇い
- 3 派遣社員
- 4 契約社員・嘱託
- 5 会社などの経営者・役員
- 6 自営業者・自由業者
- 7 家族従業者(家業の手伝い)
- 8 内職

問 3 あなたのお勤め先(職場)は、どのような事業をしていますか。

次の中でもっとも近いものに○をつけてください。 (○は1つ)

- 1 農業、林業
- 2 漁業
- 3 鉱業、採石業、砂利採取業
- 4 建設業
- 5 製造業
- 6 電気・ガス・熱供給・水道業
- 7 情報通信業(出版、マスコミ業を含む)
- 8 運輸業、郵便業
- 9 卸売業、小売業
- 10 金融業、保険業
- 11 不動産業、物品賃貸業
- 12 学術研究、専門・技術サービス業
(広告、著述・芸術家業を含む)
- 13 宿泊業、飲食サービス業
- 14 生活関連サービス業、娯楽業
(洗濯・理容・美容・浴場業を含む)
- 15 教育、学習支援業
- 16 医療、福祉
(保健衛生、社会保険・介護事業を含む)
- 17 複合サービス事業(郵便局、協同組合)
- 18 その他のサービス業
(廃棄物処理、整備、修理、職業紹介・派遣事業を含む)
- 19 政治・経済・文化団体、宗教団体
- 20 公務(政府・地方自治体固有の業務)
- 21 その他
[具体的に：]

※公務の場合は、勤め先の事業が他の選択肢にない場合のみ、20を選んでください。

※どの選択肢が適切かわからない場合は、21に勤め先(職場)の事業内容を具体的にお書きください。

問 4

あなたは通常、お勤め先（職場）でどのような仕事をしていますか。
次の中でもっとも近いものに○をつけてください。（○は1つ）

- | | |
|---------------------------------------|-------------------|
| 1 管理職（課長相当以上の役職） | 7 農林漁業の仕事 |
| 2 専門職・技術職 | 8 モノを製造・加工する仕事 |
| 3 事務職 | 9 機械や設備・乗物を運転する仕事 |
| 4 販売・営業職 | 10 建設現場の仕事・採掘の仕事 |
| 5 サービスの仕事
（介護職員、理美容師、接客業、ビル管理人を含む） | 11 運搬・清掃・包装の仕事 |
| 6 保安の仕事（自衛官、警察官、消防士、警備員など） | 12 その他 |
| | [具体的に：] |

問 5

あなたの会社・組織で働いている人の人数はこの中のどれにあたりますか。
身近な職場だけでなく、会社・組織全体でお答えください。
あなた自身、家族従業者、パートの方など、働いている方をすべて含めてください。（○は1つ）

- | | | | |
|-------------|------------|--------------|---------------|
| 1 1人（あなたのみ） | 4 10~29人 | 7 300~499人 | 10 2000~9999人 |
| 2 2~4人 | 5 30~99人 | 8 500~999人 | 11 1万人以上 |
| 3 5~9人 | 6 100~299人 | 9 1000~1999人 | 12 官公庁 |
| | | | 13 わからない |

※ 省庁や自治体から給与をもらっている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、
官公庁に含めてください。ただし、公社や各種法人は官公庁に含めません。

問 6

あなたの役職はこの中のどれにあたりますか。
もっとも近いものに○をつけてください。（○は1つ）

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1 役職なし | 4 課長（課長相当） | 7 その他の役職 |
| 2 職長・班長・組長など | 5 部長（部長相当） | [具体的に：] |
| 3 係長（係長相当） | 6 社長・重役・役員・理事 | |

問 7

現在の会社・組織で何年間働いてきましたか。
自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

年間 （1年未満の場合は、0ゼロと記入してください）

問 8

ふだん、あなたは1週間あたり何時間働いていますか。残業も含めてください。

1週間あたり 時間 （休憩時間は除く）

全員の方へ

問 9

学校を出てはじめて仕事についたのは、何歳のときでしたか。（在学中の方や、学校を出てから一度も仕事についたことのない方は1か2に○をつけ、問13へお進みください。）

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| <input type="text"/> 歳のとき | 1 在学中（まだ学校を出ていない） |
| | 2 学校を出てから一度も仕事についたことがない |

問 10 あなたに、これまでに次のようなことはありましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1 心身の病気やケガで休職したこと | 5 他の理由の休職や無職 |
| 2 産前産後休業や育児休業を取得したこと | [具体的に: _____] |
| 3 介護休業を取得したこと | 6 1~5 のような経験はない ---▶ 問 12 へ |
| 4 失業や退職後、無職でいたこと | |

問 11 では、問 10 の 1~5 のような理由で、休職したり無職であったりした期間を合計すると、およそ何年何ヶ月になりますか。

休職・無職期間の合計

年

ヶ月

問 12 昨年 1 年間にあなたがお仕事で得た収入(税込)は、どれに近いですか。各種手当、賞与・ボーナスなども含めてお答えください。副収入(主な仕事以外による収入)、年金、給付金、家賃収入、配当金、仕送りなどは含みません。(○は 1 つ)

- | | | |
|----------------|-------------------|-------------------|
| 1 仕事で得た収入はなかった | 8 600~700 万円未満 | 15 1300~1400 万円未満 |
| 2 100 万円未満 | 9 700~800 万円未満 | 16 1400~1500 万円未満 |
| 3 100~200 万円未満 | 10 800~900 万円未満 | 17 1500~1600 万円未満 |
| 4 200~300 万円未満 | 11 900~1000 万円未満 | 18 1600~1700 万円未満 |
| 5 300~400 万円未満 | 12 1000~1100 万円未満 | 19 1700~1800 万円未満 |
| 6 400~500 万円未満 | 13 1100~1200 万円未満 | 20 1800万円以上 |
| 7 500~600 万円未満 | 14 1200~1300 万円未満 | [具体的に: _____ 円] |
| | | 21 わからない |

ここからは、あなたの健康や生活習慣について、うかがいます。

問 13 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。(○は 1 つ)

- 1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない

問 14 あなたは煙草(タバコ)を吸いますか。(○は 1 つ)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1 毎日吸っている | 3 以前は吸っていたが 1 ヶ月以上吸ってない |
| 2 ときどき吸う日がある | 4 吸わない |

問 15 あなたは、ふだんお酒を飲みますか。(○は 1 つ)

- | | | |
|------------|------------|--------|
| 1 ほとんど毎日 | 4 月に 1 回程度 | 7 飲まない |
| 2 週に数回 | 5 年に数回 | 8 飲めない |
| 3 週に 1 回程度 | 6 年に 1 回程度 | |

問 16 この 1 年間、お酒を飲んで、次のようなことはありましたか。(○はいくつでも)

- 1 イッキ飲みをした 3 飲みすぎて、嘔吐してしまった 5 いずれの経験もない
2 酔いつぶれてしまった 4 飲みすぎて、記憶をなくした

問 17 あなたは、慢性的な病気または長期にわたる健康上の問題をかかえていますか。(○はいくつでも)

- 1 高血圧・動脈硬化・心疾患 4 うつ病や他のこころの病気
2 糖尿病 5 その他〔具体的に： 〕
3 悪性腫瘍(がん) 6 健康上の問題はない

問 18 最近 1 ヶ月間に、次の (1)~(6) のようなことがどれくらいひんぱんにありましたか。それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は 1 つ)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったく ない
(1) 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
(2) 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
(3) そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
(4) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも 気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
(5) 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
(6) 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問 19 これまでに、次にあげるような経験はありましたか。(○はいくつでも)

- 1 生きる価値がないと感じた
2 死ねたらと思った、または、自死の可能性を考えた
3 自殺について考えたり、自殺をほのめかす行動をとったりした
4 自殺を図った
5 上の 1~4 のようなことはなかった

-----> 問 20 へ
-----> 問 21 へ

問 20 「最近の 1 年間」、「小・中学校の頃」、「高校・16~18 歳の頃」に次の (1)~(4) のような経験はありましたか。ある場合は「ある」に○を、ない場合は「ある」に×をつけてください。

	(ア) 1 最近の 年間	(イ) 小・中 学校 の頃	(ウ) 16 ~ 18 歳 の 頃 ・ 高 校
回答例 →	ある	×	ある
(1) 生きる価値がないと感じた	ある	ある	ある
(2) 死ねたらと思った、または、自死の可能性を考えた	ある	ある	ある
(3) 自殺について考えたり、自殺をほのめかす行動をとったりした	ある	ある	ある
(4) 自殺を図った	ある	ある	ある

ここでは、学校に通っていた頃や、大人になってからの人間関係についてうかがいます。

- 問 21 小学校から高校時代のあいだに、次の (1) から (6) のようなことはありましたか。
(ア)と(イ)のそれぞれについて、「ある」、「ない」のどちらかに○をつけてください。

小・中学校や高校での友人や同級生による…	(ア) 自分が 受けたこと		(イ) 見聞き したこと	
(1) 不快な冗談、からかい	ある	ない	ある	ない
(2) 暴力的行為	ある	ない	ある	ない
(3) 「ホモ」「おかま」「レズ」「おとこおんな」「オネエ」と いったことにかかわる、不快な冗談、からかい	ある	ない	ある	ない
(4) 「ホモ」「おかま」「レズ」「おとこおんな」「オネエ」と いったことでふられる、暴力的な行為	ある	ない	ある	ない
(5) 民族、人種、国籍などにかかわる不快な冗談、からかい	ある	ない	ある	ない
(6) 民族、人種、国籍などに関してふられる暴力的行為	ある	ない	ある	ない

- 問 22 大人になってから、次の (1) から (6) のようなことはありましたか。
(ア)と(イ)のそれぞれについて、「ある」、「ない」のどちらかに○をつけてください。

大人になってからの、身近な人による…	(ア) 自分が 受けたこと		(イ) 見聞き したこと	
(1) 不快な冗談、からかい	ある	ない	ある	ない
(2) 暴力的行為	ある	ない	ある	ない
(3) 「ホモ」「おかま」「レズ」「おとこおんな」「オネエ」と いったことにかかわる、不快な冗談、からかい	ある	ない	ある	ない
(4) 「ホモ」「おかま」「レズ」「おとこおんな」「オネエ」と いったことでふられる、暴力的な行為	ある	ない	ある	ない
(5) 民族、人種、国籍などにかかわる不快な冗談、からかい	ある	ない	ある	ない
(6) 民族、人種、国籍などに関してふられる暴力的行為	ある	ない	ある	ない

- 問 23 過去 1 年間、必要なときに心配ごとを聞いてくれた人はいますか。

1 いた 2 いなかった 3 心配ごとはなかった

- 問 24 過去 1 年間、必要なときに経済面で助けてくれた人はいますか。

1 いた 2 いなかった 3 経済的な援助を必要としたことはない

ここからは、あなたやご家族のことについて、うかがいます。

問 25 あなたの生まれた年月と年齢をご記入ください。(選択肢の○は1つ)

1 昭和
2 平成
3 西暦

年 月生まれ

満 歳

問 26 あなたがお生まれになったのは、どちらの国ですか。
日本以外の方は、国名(または地域)をご記入ください。

1 日本 2 日本以外の国 -----▶ 国名

問 27 現在、あなたといっしょに住んでいる方は、あなたを含めて全部で何人ですか。

あなたを含めて 人 ※一人暮らしの方は「1」を記入し、問 29 へお進みください。

問 28 現在、あなたといっしょに住んでいる方すべてに、○をつけてください。
[] には、あてはまる人数をご記入ください。(○はいくつでも)

1 夫・妻・配偶者・パートナー	5 父	9 きょうだい [] 人
2 息子 [] 人	6 母	10 孫 [] 人
3 娘 [] 人	7 義父	11 他の親族 [] 人
4 息子の妻・娘の夫 [] 人	8 義母	12 その他 [具体的に:]

問 29 あなたは現在ご結婚されていますか。(○は1つ)

1 結婚している 3 離別した 5 その他
2 結婚したことがない 4 死別した [具体的に:]

※この問いの「結婚」は、男女の結婚をさします。
婚姻届を提出せずに事実上夫婦として生活している場合も含みます。

問 30 あなたに、お子さんは何人いますか。
いっしょに住んでいないお子さんも含めてください。(○は1つ)

1 1人 3 3人 5 5人以上 [具体的に:] 人
2 2人 4 4人 6 子どもはいない -----▶ 問 32 へ
p.7の一番上

問 31 18歳未満のお子さんは何人いますか。
いっしょに住んでいないお子さんも含めてください。(○は1つ)

1 1人 3 3人 5 5人以上 [具体的に:] 人
2 2人 4 4人 6 18歳未満の子どもはいない

問 32 あなたが通った学校について、(1) 最後に通った (または通っている) 学校と、
(2) その学校の卒業・中退・在学中の別をお答えください。(それぞれ○は1つ)

問 32(1) 最後に通った (または通っている) 学校

- 1 小・中学校 5 大学
2 高校 6 大学院
3 専門・専修学校 (高卒後) 7 その他
4 短大・高専 [具体的に:]

問 32(2) 卒業・在学の別

- 1 卒業した
2 中退した
3 在学中 → 年生

問 33 中学 3 年生の頃、あなたの成績は学年の中でどれくらいだったと思いますか。(○は1つ)

- 1 上の方 3 真ん中のあたり 5 下の方
2 やや上の方 4 やや下の方

問 34 あなたの現在の国籍はどちらですか。あてはまる国・地域の番号に○をつけてください。
1～10 にない場合は、国名 (または地域) をご記入ください。(○はいくつでも)

1 日本	2 韓国・ 朝鮮	3 中国	4 ベトナム	5 台湾	6 フィリピン	7 米国	8 ネパール	9 インド ネシア	10 タイ
11 その他：国名									

問 35 お父さまと、お母さまが、最後に通った (あるいは在学中の) 学校は次のどれに
あたりますか。卒業、中退、在学中は問いません。

	(1) お父さま (○は1つ)	(1) お母さま (○は1つ)
※亡くなられている場合も、わかる範囲でお答えください。問36も同様です。		
1 中学校 (戦前の小学校 (尋常科・高等科)・国民学校・青年学校))	1	1
2 高校 (戦前の中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)	2	2
3 専門学校 (高卒後)	3	3
4 短大・高専 (戦前の高校・専門学校・高等師範学校)	4	4
5 大学	5	5
6 大学院	6	6
7 その他 ([] に具体的にご記入ください)	7 []	7 []
8 わからない	8	8

問 36 お父さまと、お母さまが、お生まれになったのは、どちらの国ですか。
日本以外の場合は、国名 (または地域) をご記入ください。

問 36(1) お父さま (○は1つ)

- 1 日本 3 わからない
2 日本以外 → 国名

問 36(2) お母さま (○は1つ)

- 1 日本 3 わからない
2 日本以外 → 国名

問 37 お父さまと、お母さまの現在の国籍はどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。1～10 にない場合は、国名（または地域）をご記入ください。（○はいくつでも）

問 37(1) お父さま	1 日本	2 韓国・朝鮮	3 中国	4 ベトナム	5 台湾	6 フィリピン	7 米国	8 ネパール	9 インドネシア	10 タイ
	11 その他：国名						12 わからない			
問 37(2) お母さま	1 日本	2 韓国・朝鮮	3 中国	4 ベトナム	5 台湾	6 フィリピン	7 米国	8 ネパール	9 インドネシア	10 タイ
	11 その他：国名						12 わからない			

※亡くなられている場合は、最後に有していた国籍をお答えください。

ここでは、あなたのお宅(世帯)の暮らし向きや経済面についてうかがいます。

問 38 昨年1年間、あなたのお宅(世帯)では、全体でどれくらいの収入(税込)がありましたか。生計を共にしている方々の分も合わせ、すべての収入(年金、給付金、家賃収入、配当金、仕送りなどを含む)についてお答えください。（○は1つ）

- | | | |
|----------------|-------------------|--------------------------|
| 1 仕事で得た収入はなかった | 8 600～700 万円未満 | 15 1300～1400 万円未満 |
| 2 100 万円未満 | 9 700～800 万円未満 | 16 1400～1500 万円未満 |
| 3 100～200 万円未満 | 10 800～900 万円未満 | 17 1500～1600 万円未満 |
| 4 200～300 万円未満 | 11 900～1000 万円未満 | 18 1600～1700 万円未満 |
| 5 300～400 万円未満 | 12 1000～1100 万円未満 | 19 1700～1800 万円未満 |
| 6 400～500 万円未満 | 13 1100～1200 万円未満 | 20 1800万円以上
[具体的に： 円] |
| 7 500～600 万円未満 | 14 1200～1300 万円未満 | 21 わからない |

問 39 あなたのお宅(世帯)の預貯金等(貯蓄)の総額はどれくらいですか。もっとも近いものに○をつけてください。（○は1つ）

- | | | |
|----------------|------------------|---------------------------|
| 1 貯蓄はない | 7 400～500 万円未満 | 13 1000～1500 万円未満 |
| 2 50 万円未満 | 8 500～600 万円未満 | 14 1500～2000 万円未満 |
| 3 50～100 万円未満 | 9 600～700 万円未満 | 15 2000～2500 万円未満 |
| 4 100～200 万円未満 | 10 700～800 万円未満 | 16 2500～3000 万円未満 |
| 5 200～300 万円未満 | 11 800～900 万円未満 | 17 3000 万円以上
[具体的に： 円] |
| 6 300～400 万円未満 | 12 900～1000 万円未満 | 18 わからない |

※貯蓄とは、金融機関への預貯金、これまで払い込んだ保険金(掛け捨て保険は除く)、株式・信託・債券等、財形貯蓄、社内預金等のことをいいます。自営業者世帯の場合は、事業用の貯蓄も含めてください。額の大小にかかわらず、総額に含めてください。

問 40 あなたのお宅(世帯)では、過去1年の間に、経済的な理由で次のようなことがありましたか。それぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。

(1) 電気・ガス料金の未払い	1 あった	2 なかった	
(2) 家賃の滞納	1 あった	2 なかった	3 非該当(賃貸ではない)
(3) 住宅ローンの滞納	1 あった	2 なかった	3 非該当(住宅ローンはない)
(4) その他の債務不履行	1 あった	2 なかった	

- 問 41 次の (1)～(6) のそれぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを
1、2、3、4 から 1 つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	そう 思う	そう 思わ ない	どちら かと そう 思わ ない	どちら かと そう 思わ ない
(1) 男女が一緒にくらすなら結婚すべきである	1	2	3	4
(2) 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
(3) 結婚せずに、子どもを持ってもよい	1	2	3	4
(4) 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
(5) 結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は 仕事の成功よりも重要だ	1	2	3	4
(6) 男どうしや、女どうしのカップルが、子どもを育ててもよい	1	2	3	4

- 問 42 次の (1)～(7) のそれぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを
1、2、3、4 から 1 つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	そう 思う	そう 思わ ない	どちら かと そう 思わ ない	どちら かと そう 思わ ない
(1) 男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい	1	2	3	4
(2) 女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい	1	2	3	4
(3) 男性どうしの性行為は、気持ちが悪い	1	2	3	4
(4) 女性どうしの性行為は、気持ちが悪い	1	2	3	4
(5) 男女間の性行為は、気持ちが悪い	1	2	3	4
(6) 性別を男性から女性に変えるのは気持ちが悪い	1	2	3	4
(7) 性別を女性から男性に変えるのは気持ちが悪い	1	2	3	4

- 問 43 以下の人が同性愛者や性別を変えた人だったらあなたはどのように思いますか。
(1)～(6)のそれぞれについて、あなたのお気持ちやお考えにもっとも近いものを
1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。

	嫌 で は な い	嫌 で は な い い え ば ど ち ら か と	嫌 だ い え ば ど ち ら か と	嫌 だ
以下の人が 同性愛者 だったら…(それぞれ○は1つ)				
(1) 職場の同僚	1	2	3	4
(2) 自分の子ども	1	2	3	4
(3) 仲の良い友人	1	2	3	4
以下の人が 性別を変えた人 だったら…(それぞれ○は1つ)				
(4) 職場の同僚	1	2	3	4
(5) 自分の子ども	1	2	3	4
(6) 仲の良い友人	1	2	3	4

ここでは、あなたの性別、恋愛、性にかかわることをうかがいます。性のあり方を多角的にとらえ、学術研究や、国・自治体の施策を考える上で、重要となっております。

- 問 44 あなたの性別に○をつけてください。[出生時の戸籍・出生届の性別](○は1つ)

1 男 2 女

※「出生時」とは、生まれたときにもっとも近い時点のことをさします。

- 問 45 あなたは今のご自分の性別を、出生時の性別(上で○をつけたもの)と同じだと
とらえていますか。左側で2や3に○をした方は、今の認識をお答えください。

(○はいくつでも)

- 1 出生時の性別と同じ
2 別の性別だととらえている
3 違和感がある

今の認識にもっとも近い性別(○は1つ)

1 男 3 その他

2 女 [具体的に:]

- 問 46 次の中で、あなたにもっとも近いと思うものに○をつけてください。(○は1つ)

- 1 異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない [異性のみに性愛感情を抱く人]
2 ゲイ・レズビアン・同性愛者 [同性のみに性愛感情を抱く人]
3 バイセクシュアル・両性愛者 [男女どちらにも性愛感情を抱く人]
4 アセクシュアル・無性愛者 [誰に対しても性愛感情を抱かない人]
5 決めたくない・決めていない
6 質問の意味がわからない

問 47 次の (1)~(3) について、(ア) これまでのことと、(イ) 最近の 5 年間のことについて、それぞれもっとも近いものを 1~6 から 1 つずつ選んで○をつけてください。

(1) あなたが恋愛感情を抱く相手

(ア)これまで (○は 1 つ)	(イ)最近の 5 年間 (○は 1 つ)
1 男女どちらにも恋愛感情を抱いたことがない	1 男女どちらにも恋愛感情を抱いたことがない
2 男性のみ	2 男性のみ
3 ほとんどが男性	3 ほとんどが男性
4 男性と女性同じくらい	4 男性と女性同じくらい
5 ほとんどが女性	5 ほとんどが女性
6 女性のみ	6 女性のみ

(2) あなたが性的に惹 (ひ) かれる相手

(ア)これまで (○は 1 つ)	(イ)最近の 5 年間 (○は 1 つ)
1 男女どちらにも性的に惹かれたことがない	1 男女どちらにも性的に惹かれたことがない
2 男性のみ	2 男性のみ
3 ほとんどが男性	3 ほとんどが男性
4 男性と女性同じくらい	4 男性と女性同じくらい
5 ほとんどが女性	5 ほとんどが女性
6 女性のみ	6 女性のみ

(3) あなたがセックスをする相手

(ア)これまで (○は 1 つ)	(イ)最近の 5 年間 (○は 1 つ)
1 セックスをしたことがない	1 セックスをしたことがない
2 男性のみ	2 男性のみ
3 ほとんどが男性	3 ほとんどが男性
4 男性と女性同じくらい	4 男性と女性同じくらい
5 ほとんどが女性	5 ほとんどが女性
6 女性のみ	6 女性のみ

問 48 同性のパートナー (恋人) とつきあったり、同居したりしたことはありますか。

同性パートナーとつきあった経験 (○は 1 つ)	同居の経験 (○は 1 つ)
1 ない	1 ない
2 現在、同性パートナーがいる	2 現在、同居している
3 現在はいないが、過去にいた	3 過去に、同居していた

問 49 あなたの周りの人について、おたずねします。職場の同僚 (過去も含む) や、近しい友人、親せきや家族に、同性愛者はいますか。 (○は 1 つ)

- 1 いる 2 そうかもしれない人がある 3 いないと思う 4 いない

問 50 職場の同僚 (過去も含む) や、近しい友人、親せきや家族に、性別を変えた、あるいはそうしようと考えている人はいますか。 (○は 1 つ)

- 1 いる 2 そうかもしれない人がある 3 いないと思う 4 いない

ここでは、性の多様性にかかわる、
国や自治体の取り組みについてのお考えをうかがいます。

問 51 次のような制度や取り組みについて、あなたは賛成ですか、反対ですか。
あなたのお考えにもっとも近いものに○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	賛成	やや賛成	やや反対	反対
(1) 同性カップル(女どうし・男どうしのカップル)が、法的に結婚できる制度	1	2	3	4
(2) 親が育てられない子どもを、同性カップルが養子や里子として迎え、育てることのできる制度	1	2	3	4
(3) 女どうしのカップルが、生殖補助医療などによって、子どもをもてるように支援する	1	2	3	4
(4) 職場・学校・地域で、同性愛者や性別を変えた人も、差別なく公平に扱われるための法律・条例の整備	1	2	3	4
(5) 職場、学校、地域における、多様な性のあり方についての啓発	1	2	3	4
(6) 同性愛という性のあり方があることや、性別を変えたいと望む人のことを、義務教育で教えること	1	2	3	4

問 52 LGBTなどの性的少数者の方々が日常生活を営むうえで直面している課題と思われるものを、1～8の中から選んでください。(○はいくつでも)

- 1 こども・教育(学校の制服、宿泊行事、トイレ、更衣室、プール)
- 2 就労(採用試験、更衣室、トイレ、結婚休暇や介護休暇などの福利厚生制度)
- 3 住宅(賃貸住宅の入居拒否)
- 4 医療(パートナーの手術の同意、安否情報の提供、看護)
- 5 民間サービス(家族と同等のサービス提供(家族割引・生命保険の受取など))
- 6 死別(葬儀への出席、遺産相続)
- 7 その他[具体的に: _____]
- 8 直面している課題はないと思う

※「LGBT」とは、レズビアン(同性のみに性愛感情を抱く女性)、ゲイ(同性のみに性愛感情を抱く男性)、バイセクシュアル(男女どちらにも性愛感情を抱く人)、トランスジェンダー(出生時の(戸籍や出生届での)性別とは異なる性を自認する人)の英語の頭文字をとった言葉です。「性的少数者」には、LGBT以外にも、誰に対しても性愛感情を抱かない人や、自分自身の性を決められない・わからない、などさまざまな人がいます。

問 53 大阪市において、次のような、LGBT などの性的少数者に対する偏見や差別を解消する取り組みや、これらの方々に配慮した取り組みを推進することについて、賛成ですか反対ですか。あなたのお考えにもっとも近いものに○をつけてください。

	賛成	やや賛成	やや反対	反対
(それぞれ○は1つ)				
(1) 市民への広報・啓発 (区民まつり、人権週間、ホームページ、広報紙など)	1	2	3	4
(2) 企業・事業者への啓発 (企業向け手引きの提供・顕彰制度など)	1	2	3	4
(3) 大阪市人権啓発・相談センターにおける 相談事業	1	2	3	4
(4) 性同一性障がいなどの性別違和の方に配慮した 申請書類等の性別記載欄の見直し	1	2	3	4
(5) 多目的トイレにおける 「どなたでも利用できます」表示	1	2	3	4
(6) パートナーシップを証明する制度	1	2	3	4

問 54 現在お住まいの区は、どちらですか。あてはまる区に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | | | | |
|-------|-------|---------|---------|---------|----------|
| 1 北区 | 5 中央区 | 9 天王寺区 | 13 東淀川区 | 17 城東区 | 21 住吉区 |
| 2 都島区 | 6 西区 | 10 浪速区 | 14 東成区 | 18 鶴見区 | 22 東住吉区 |
| 3 福島区 | 7 港区 | 11 西淀川区 | 15 生野区 | 19 阿倍野区 | 23 平野区 |
| 4 此花区 | 8 大正区 | 12 淀川区 | 16 旭区 | 20 住之江区 | 24 西成区 |
| | | | | | 25 大阪市以外 |

問 55 大阪市内には、合計で何年間お住まいですか。

合計 年 (1年未満の場合は、0ゼロと記入してください)
現在市外にお住まいの方は、過去の合計をお答えください。

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

今日の日付をご記入ください _____ 月 _____ 日

アンケートの外国語訳を参照して回答した方へ

- 본 양케이트 조사에 응답할 때 홈페이지에 기재된 한국어 번역판을 참조하였습니까? : 예 / 아니오
- 回答此份问卷调查表时，参阅了网页里所登載的中国語简体字版了吗? : 是 / 否
- Khi trả lời bản câu hỏi này, bạn có tham khảo phiên bản tiếng Việt trên trang chủ không? : Có / Không
- 回答此份問卷調查表時，參閱了網頁裡所登載的中國語繁體字版了嗎? : 是 / 否
- Did you refer to the English version of the questionnaire on our website? : Yes / No
- Você precisou consultar a tradução em português de nosso Site, para responder este questionário? : Sim / Não

このページでは、アンケートへの感想をおたずねします。
今後の研究の参考とさせていただきますので、できる限りお答えいただけると幸いです。

アンケートへのご意見

Q1 アンケート全般について (○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 関心をもてた | 3 あまり関心をもてなかった |
| 2 ある程度、関心をもてた | 4 関心をもてなかった |

Q2 質問に使われている言葉について (○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 わからない言葉はなかった | 3 わからない言葉がかなりあった |
| 2 わからない言葉がいくつかあった | 4 わからない言葉ばかりだった |

Q3 アンケートご案内用ホームページについて (○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1 役に立った | 3 役に立たなかった |
| 2 どちらともいえない | 4 ホームページは、利用しなかった |

Q4 このアンケートについて、ご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。 上では十分に回答できなかったことを、補足していただくこともできます。

ご協力ありがとうございました。

ご記入後のアンケートは返信用封筒に入れ、1月28日までに郵便ポストにご投函ください。

お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(このアンケートや封筒には、お名前やご住所を記入しないでください。)

大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート

Q&A

アンケートの対象者となったあなた様へのご説明

Q1 これは何のためのアンケートですか？

皆さまの働き方と暮らしにかんするご回答を集計し、大阪市民の多様性と共生についての意識や実情を知るために行います。LGBT などの性的少数者にかかわる課題を検討する基礎資料としても活用します。「ある意見を支持する人は、何パーセント」、「パート・アルバイトで働く若年層は多くなっているか」といった形で、割合や傾向を分析するための学術調査です。

Q2 なぜ、私に送られてきたのですか？

どの方にアンケートをお願いするかは、大阪市在住の 18 歳～ 59 歳の方の中から 1 万 5 千人を無作為抽出法（※）によって抽出し、決めさせていただきました。
※無作為抽出法とは、「くじびき」のように、誰が選ばれるかを偶然にゆだねる、科学的な調査の標準的な抽出方法です。

Q3 私は答えなくてもよいですか？／他の誰かが代わりに答えてもよいですか？／関心がないので答えたくありません

このアンケートは、対象者となった皆さまから寄せられる回答の結果が、大阪市にお住まいの方々の意識や実情の正確な縮図となるように設計されています。回答は任意であり、回答しなくてもあなたに不利益になることはありませんが、ひとりひとりのお考えを正しく結果に反映するため、封筒の宛名のご本人様がお答えくださいますよう、ご協力お願い申し上げます。

Q4 なぜ、大阪市の住民が対象になったのですか？

大阪市では住民の多様性を踏まえた数々の施策や取り組みが行われており、大阪市の現状を知ることが、社会全体でさまざまな取り組みを進めていく上での参考になると考えたからです。

Q5 住民基本台帳から住所や名前など（個人情報）を抜き出すのはプライバシーの侵害ではないですか？

大阪市内で定められた住民基本台帳の利用に関する手続きを遵守し、アンケート書類の送付に必要な情報（住所・氏名）を抽出しています。

また、本アンケートは、国立社会保障・人口問題研究所の倫理審査委員会に倫理審査申請を行い、個人情報の扱いやプライバシー保護を含め、研究倫理上、問題がないことの承認を受けた上で実施しています。

Q6 住所や名前などの個人情報が漏（も）れるのではないですか？

アンケート書類を発送するための個人情報（住所・氏名）は、個人情報保護制度のもとで大阪市内のみで保有し、研究チーム、業務委託先（お問い合わせ先・事務局）では保有しません。また、アンケートは無記名なので、個人の特定はできません。したがって、ご回答くださった方の個人情報が漏（も）れることはありません。

Q7 回答から個人を特定できるのではないですか？

回答いただいたアンケートから回答者を特定することはできません。アンケートには皆さまの住所や名前を特定するための情報は一切含まれていないからです。加えて、このアンケートは大阪市から直接皆さまに送られるため、研究チームは皆さまの住所や名前の情報を持っていません。したがって、どなたの回答かを特定できない仕組みになっています。

Q8 インターネットで回答したら、誰の端末から送られたのかが、わかるのではないですか？

インターネットの回答を集めるサーバーには端末の情報が届くこととなりますが、回答の受付を締め切った時点で、まず端末に関する情報を完全に除去し、そののちに、集計を行います。また、回答の送信には暗号化がほどこされますので、安心してご回答ください。

Q9 答えたくない質問があります / 自分にあてはまる選択肢がありません

正確な結果につなげるために、できるだけお答えいただきたいところですが、どうしても答えたくない質問がありましたら、次に進んでいただいて構いません。回答は任意であり、回答しなくてもあなたに不利益になることはありません。途中でやめることもできます。一部しか答えていないアンケートでも、ご返送ください。また、あてはまる選択肢がない場合は、余白にあなたのご回答をお書きください。

Q10 アンケートに対して意見があります

最後のページ(インターネット回答の場合は最後の画面)の感想欄に、ご記入ください。重要な意見として、学術研究および今後のアンケートの実施方法を改善するために参考にさせていただきます。

Q11 このアンケートの結果はいつ、どこで見られますか？

2019年秋をめどに結果の概要を公表する予定です。この概要全文の入手方法は、このアンケートのホームページでご案内いたします。同時に、結果概要を新聞やニュースを通じて、皆さまにお伝えする予定です。
URL <https://osaka-chosa.jp>

この紙を読んでもよくわからないことがありましたら、下記までお問い合わせください

アンケートにかんするお問い合わせ先

☎ **0800-800-2286**【無料】
月～金 9:00-12:00/13:00-17:00

✉ osaka-chosa@sjc.or.jp

〔業務委託先〕 一般社団法人 新情報センター
「働き方と暮らしの多様性と共生アンケート」事務局（担当：安藤・日高）



アンケートにかんするご案内のホームページはこちら
<https://osaka-chosa.jp>

※ アンケートを返信用封筒に入れて投函する、または、インターネットで回答を送信することで、このアンケートへの協力に同意いただいたものとさせていただきます。

※ このアンケートは、国立社会保障・人口問題研究所の倫理審査委員会に倫理審査申請を行い、研究倫理上、問題がないことの承認を受けた上で実施しています。（承認番号 IPSS-IBRA #18003）

インターネット回答のご案内



このアンケートは、スマートフォン、パソコン、タブレットから、インターネットでのご回答もできます。

🕒 インターネットによる回答の期限

2019年1月28日まで

📢 ご回答にあたって

- 必ず、対象となったご本人がご回答ください。
- ご回答はお一人につき1回をお願いします。
- ログインIDやパスワードは第三者に伝えないなど、取扱いには十分にご注意ください。
- 本アンケートは1つ前の画面の入力情報までが自動保存されますので、仮に回答を中断した場合でもログインIDとパスワードを入れることでご回答の続行が可能です。
(ただしご回答を最後まで完了してしまうと、再度やりなおしはできません。ご注意ください)
- 画面をさかのぼる際は、ページの中に設けられた【戻るボタン】をご使用ください。
(ブラウザの「戻る」ボタンや「戻る」メニューをご使用になりますと、それまでの回答がクリアされてしまう場合がございますのでご注意ください)

回答方法

1 回答画面にアクセスしてください、

URL

QRコード



2 画面にしたがって、裏面のログインIDとパスワードを入力し、回答を開始してください

ログインID

パスワード

インターネットで回答した方は、アンケート用紙を返送する必要はございません。
インターネットで回答を送信することで、このアンケートへの協力に同意いただいたものとさせていただきます。

研究チームからのお願い

この度、厚生労働省 国立社会保障・人口問題研究所 室長 釜野さおりらの研究チームでは、国の研究費補助金を受け、大阪市の協力を得て、市内にお住まいの18歳～59歳の1万5千人の方におかれし、「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」を行なうことといたしました。

このアンケートの目的は、働き方と暮らしの多様性と共生にかんする皆さまのご経験やお考えについて調査することにあります。仕事・職場、家計、心身の健康、性にかかわること、ご家族のこと、周りの方たちとの関係などを広くおたずねし、これらのことがらが、たがいに関連しあっているかを、学術的見地から分析します。調査の結果は学会・論文で発表するほか、記者会見などを通じて、広く社会に還元します。また、大阪市の人権課題のひとつであるLGBTなどの性的少数者にかかわる取り組みの参考としても活用されます。大阪市では、市民の多様性をふまえた数々の施策や取り組みが自治体や住民組織によって進められています。そのような状況の中、大阪市の現状を知ることが、今後の社会全体のあり方を考える上で、重要な指針になると考えております。

このアンケートをお送りしているのは、大阪市の住民基本台帳から、どなたが選ばれるかを偶然にゆだねる方法（無作為抽出法）で、選ばせていただいた皆さまです。お名前やご住所は、今回のアンケート書類の送付以外で使われることはありません。また、ご回答は無記名でお願いしており、お答えいただいた内容は統計として取りまとめられますので、皆さまの個人的なことが明らかにされることはございません。皆さまのプライバシー・個人情報は守られておりますので、安心してご回答いただけます。

アンケートへの回答は任意ですが、趣旨をご理解いただいた上で、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成31(2019)年1月
「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム

アンケートにかんするお問い合わせ先

☎ 0800-800-2286 [無料]
月～金 9:00-12:00/13:00-17:00

✉ osaka-chosa@sjc.or.jp

[業務委託先] 一般社団法人 新情報センター
「働き方と暮らしの多様性と共生アンケート」事務局（担当：安藤・日高）



アンケートにかんするご案内のホームページはこちら
<https://osaka-chosa.jp>

※このアンケートを返信用封筒に入れ、投函することで、
本アンケートへの協力に同意いただいたものとさせていただきます。

○ 調査主体 厚生労働省 国立社会保障・人口問題研究所 人口動向研究部 第2 室長 釜野さおり 代表
「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム（日本学術振興会 科学研究費助成事業）
☎ 03-3595-2984 ✉ osaka-chosa@ipss.go.jp

○ 調査協力 大阪市（担当：大阪市民政局ダイバーシティ推進室人権企画課）

外国語によるアンケートのご案内

한국어

中文简体

Tiếng Việt

中文繁體

English

Português

アンケート 조사 협력에 관한 부탁말씀

본 조사는 국립사회보장 연구문제연구소 외 소속 연구원이 진행하는 일과 생활 다양성 및 공생에 관한 앙케이트 조사입니다. 오사카시의 협력을 받아 일, 가계, 건강, 성, 국적, 가족 등 오사카시민의 생활 전반에 대하여 많은 분들께 조사응답을 의뢰하고 있습니다. 조사대상은 오사카시에 주민등록이 되어있는 시민들 중 무작위로 선정했습니다. 앙케이트 조사 내용의 조선이한국어 번역판은 다음의 URL을 참조하시기 바랍니다. 당신의 앙케이트 조사 응답은 일본어 앙케이트 조사 용지에 기입하여 반신용 봉투에 넣어 1월 21일까지 보내주시기 바랍니다. 응답여부는 임의선택이지만 협력해주시길 부탁드립니다.

* 앙케이트 조사 용지에 응답을 기입한 후 반신용 봉투에 넣어 우편함에 통해 본 앙케이트 조사에 협력 및 도움을 얻은 것으로 간주합니다.



<https://osaka-chosajp/kr>

请协助完成此问卷调查

此份调查是国立社会保障、人口问题研究所等的研究团队依据「工作方式和生活的多样性及共生相关的问卷调查」。已获得大阪市的协助，工作，家计（家庭经济），健康，性相关的事，国籍，家族等，请教授在大阪市的居民们关于生活全般的问题。调查对象从住民基本台帐随机抽选出来的。中国语简体字版的问卷调查请参考下面的URL。请将您的回答填写于日语语的问卷调查表，把本问卷调查表放入回信用的信封里，请于1月21日之前投进邮筒。回答为任意的，敬请惠予拨冗回答本问卷调查。感谢您的协助。

* 将问卷调查表放入回邮信封并邮寄给我们，即表示您同意参与此调查。



<https://osaka-chosajp/zh-cn>

คำอธิบายการขอความร่วมมือในการสำรวจ

đây là bản "khảo sát về sự đa dạng trong cuộc sống, công việc, và sinh hoạt cộng đồng của các cư dân sinh sống tại thành phố Osaka" thực hiện bởi nhóm nghiên cứu thuộc Viện nghiên cứu quốc gia về dân số và an sinh xã hội. Cùng với sự hợp tác của thành phố Osaka, chúng tôi xin phép hỏi về cuộc sống của bạn tại thành phố Osaka nói chung trên một số phương diện như công việc, chi phí sinh hoạt, sức khỏe, giới tính, quốc tịch và gia đình. Những người tham gia được chọn ngẫu nhiên từ hệ thống đăng ký cư trú của thành phố. Xem link URL bên dưới cho bản khảo sát bằng tiếng Việt. Vui lòng điền vào mẫu khảo sát bản tiếng Nhật và gửi lại với phong bì đính kèm qua đường bưu điện trước ngày 21 tháng 1. Mặc dù việc hoàn thành bản khảo sát là tự nguyện, nhưng chúng tôi thực sự đánh giá cao sự tham gia của bạn.

* Bằng cách đặt mẫu phiếu hỏi trong phong bì gửi lại và gửi cho chúng tôi, bạn đồng ý tham gia khảo sát.



<https://osaka-chosajp/vi>

請協助完成此問卷調查

此份調查是國立社會保障、人口問題研究所等的研究團隊依據「勞動方式和生活的多樣性及共生相關的問卷調查」。已獲得大阪市的協助，工作，家計（家庭經濟），健康，性相關的事，國籍，家族等，請教授在大阪市的居民們關於生活全般的問題。調查對象從住民基本台帳隨機抽選出來的。中國語繁體字版的問卷調查請參考下面的URL。請將您的回答填寫於日本語的問卷調查表，把本問卷調查表放入回信用的信封裏，請於1月21日之前投進郵筒。回答為任意的，敬請惠予撥冗回答本問卷調查。感謝您的協助。

* 將問卷表格放入回郵信封並郵寄給我們，即表示從同意參與此調查



<https://osaka-chosajp/zh-tw>

Request for Cooperation with the Survey

This is the "Survey on Diversity of Work and Life, and Coexistence among the Residents of Osaka City" conducted by a research team at the National Institute of Population and Social Security Research. With the cooperation of Osaka city, we ask many people about the lives of people living in Osaka city in general, such as work, household expenses, health, gender and sexuality, nationality, and family. Participants have been randomly selected from the basic resident register of the city. Please see URL below for the English translation of the survey. Please fill out the Japanese survey form, put it in the return envelope, and drop it into the mailbox by January 21. Your participation is optional; however, we sincerely appreciate your cooperation.

* Putting the questionnaire form in the return envelope and mailing it will be seen as indication of your consent to participate in this survey.



<https://osaka-chosajp/en>

Prezados Participantes da Pesquisa

Esta pesquisa é uma "Pesquisa sobre a Diversidade de vida, Convivência e o Trabalho" conduzida pelo time de pesquisa do Instituto Nacional de Pesquisas da População e Segurança Social (Instituição vinculada ao Ministério de Saúde, Trabalho e Bem Estar) com a colaboração do Município de Osaka. O objetivo da pesquisa é descobrir como as pessoas residentes em Osaka vivem e trabalham, assim como ouvir opiniões e impressões sobre os assuntos em geral do cotidiano, tais como, o trabalho, situação financeira, saúde, sexo, nacionalidade, família e outros. O alvo é escolhendo aleatoriamente a partir do registro residente básico. Para visualizar o questionário em Português, por favor, acesse o link abaixo. Solicitamos que você responda as perguntas preenchendo diretamente no questionário em japonês e nos envie o questionário respondido até o dia 21 de janeiro. Use o envelope para resposta que acompanha este material. Contamos sinceramente com a sua preciosa colaboração. A resposta é opcional.

* Colocar o formulário do questionário no envelope de devolução e enviá-lo pelo correio será visto como indicação de seu consentimento para participar desta pesquisa.



<https://osaka-chosajp/pt>